

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(4/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
つくば国際戦略総合特区(茨城県等)	正	4.2	4.5 進捗度 ・産学官連携による新規プロジェクトの創出数 100% ・次世代がん治療(BNCT)の商用型治療装置の普及施設の数 90% ・市場に本格投入する生活支援ロボットの種類 200% 等	3.9 規制の特例等 ・薬事法第12条(製造販売業)、第13条、第24条(販売業)の許可に係る特例措置等 財政支援等 ・医療機器開発推進研究事業等 地域独自の取組 ・ロボットスーツ治験事業等	4.2	<p>・研究機関の集積を生かし、4つの先導プロジェクトの推進を軸に、幅広い分野での取組が進められて着実に成果を上げている。特に生活支援ロボットの取組は評価される。イノベーションの社会実装の拠点として、今回の諸分野の連携の枠組みをさらに発展させて、次の段階である実用化・事業化を推進し、他の先例となるように期待したい。</p> <p>・地域独自の取組に積極性が認められるとともに、県・市の特区担当部署の創設、一般社団法人グローバルイノベーション推進機構を軸とする事業の総合的な推進も高く評価される。</p> <p>・税制支援等はほとんど用いられていないことから、当該のプロジェクトには税制・金融支援はあまり有効に機能していないのかもしれない。</p> <p>・各プロジェクトを統合する方向性を示すことが必要である。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。